



たんまつを使うと、いろいろなし<sup>てん</sup>点で<sup>かんが</sup>考えたり、<sup>しら</sup>調べたことをまとめたりするなど、<sup>かんが</sup>考えることを<sup>たす</sup>助けてくれます。ここでは、たんまつを使<sup>つか</sup>って<sup>かんが</sup>考えるときに<sup>し</sup>知っておくべきことや<sup>き</sup>気をつけるべきことについて<sup>まな</sup>学びます。

### さいしょにチェックしてみよう

- わたしは、いろいろなデータ<sup>じょうず</sup>を上手にほぞんできると<sup>おも</sup>思う
- わたしは、<sup>しら</sup>調べた<sup>せいり</sup>じょうほうを整理することができると<sup>おも</sup>思う
- わたしは、<sup>め</sup>目の<sup>まも</sup>けんこうを守って<sup>つか</sup>使っていると<sup>おも</sup>思う
- わたしは、<sup>じぶん</sup>まずは<sup>あたま</sup>自分の<sup>かんが</sup>頭で<sup>つか</sup>考えてから<sup>しら</sup>たんまつを使<sup>おも</sup>って<sup>しら</sup>調べていると<sup>おも</sup>思う

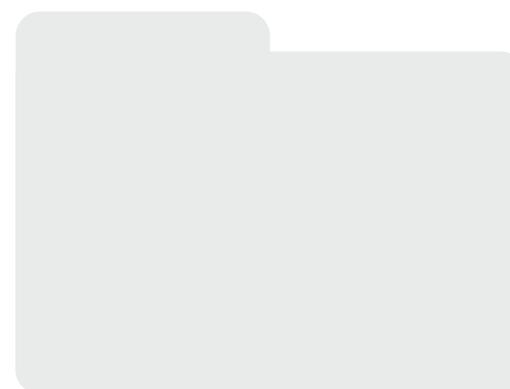
たんまつにいろいろなデータがあります。  
このデータをどのフォルダにほぞんするとよいでしょうか。



さんすう  
算数のフォルダ



こくご  
国語のフォルダ



がぞう  
画像のフォルダ

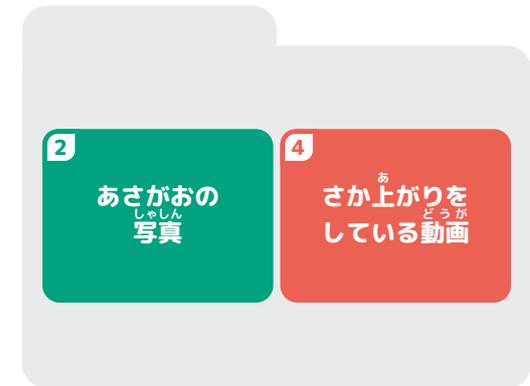
## せい 正かい



さんすう  
算数のフォルダ



こくご  
国語のフォルダ



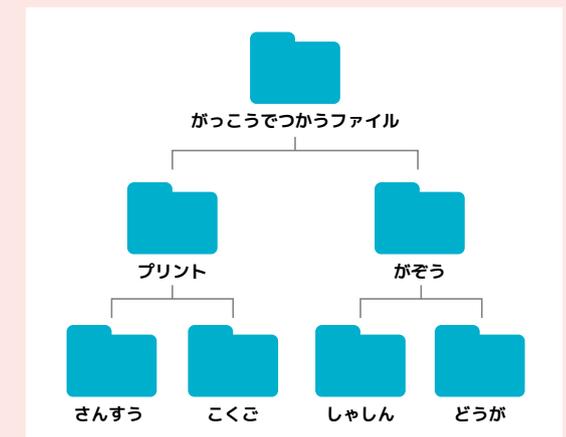
がそふ  
画像のフォルダ

### ☆ スキルのポイント

いろいろなデータをきちんと整理してほぞんすることで、次にそのデータを見たいときにさがしやすくなります。

計算のプリントであれば算数のフォルダに、漢字のプリントであれば国語のフォルダに、写真や動画であれば画像のフォルダに入れておくといよいでしょう。

ふだんの生活と同じように、データも整理整頓ができるといよいですね。



「好きな食べ物」について、10人の友だちにインタビューをしたところ、次のようなけっかになりました。



しら 調べたけっかを表で整理してみましょう。

<p>た もの 食べ物</p>	<p>お寿司</p>			
<p>にんずう 人数</p>	<p>2</p>			



## せい 正かい

た もの 食べ物	おすし	ラーメン	からあげ	カレー
にんずう 人数	2	4	3	1

### スキルのポイント

ひょう 表にしてみると、ランキングをつく とき やくだ 役に立ちます。もともと 元々のデータからは、おすしをす きな人がどれくらいいるかパッと見てわかりませんが、ひょう 表にするとひとめ 一目でわかるようになります。

たとえば、ひと 10人のなかでいちばんにんき 一番人気なのは、にん 4人があげた「ラーメン」です。つぎ 次は、にん 3人があげた「からあげ」、にん 2人があげた「おすし」、にん 1人があげた「カレー」となります。

1位 ラーメン



2位 からあげ



3位 おすし



4位 カレー

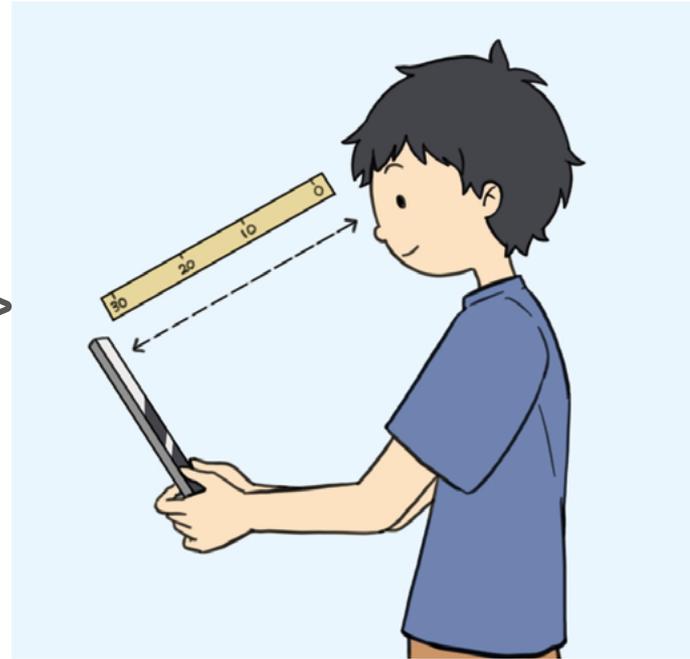


つぎ  
次のことをじっさいにやってみましょう。

- ① たんまつを持って、ふだん使っているしせいになりましょう。
- ② 目からたんまつまでのきよりははかってみましょう。



とも  
友だちとくらべてみよう



## ★ スキルのポイント

たんまつを使うときには、目のけんこうをまもることが大切です。

しゅうちゅうめちか集中すると、目がたんまつに近づきすぎたり、まばたきをしないで見てしまったりすることが多くなります。

めをたんまつから30センチメートル以上はなしてみるために、どのくらいが30センチメートルなのかはかってみましょう。

また、30分に1回はたんまつから目を30センチメートル以上はなして20秒以上遠くを見たり、ゆっくりとまばたきをしたりするようにしましょう。



## わからないときにどうすればよいかな

あなたは、「キリンの首はなぜ長いのだろう？」とふしぎに思いました。

あなたはこのあとどのように行動しますか？

次の中から1つえらんでください。

1

すぐにたんまつで調べる

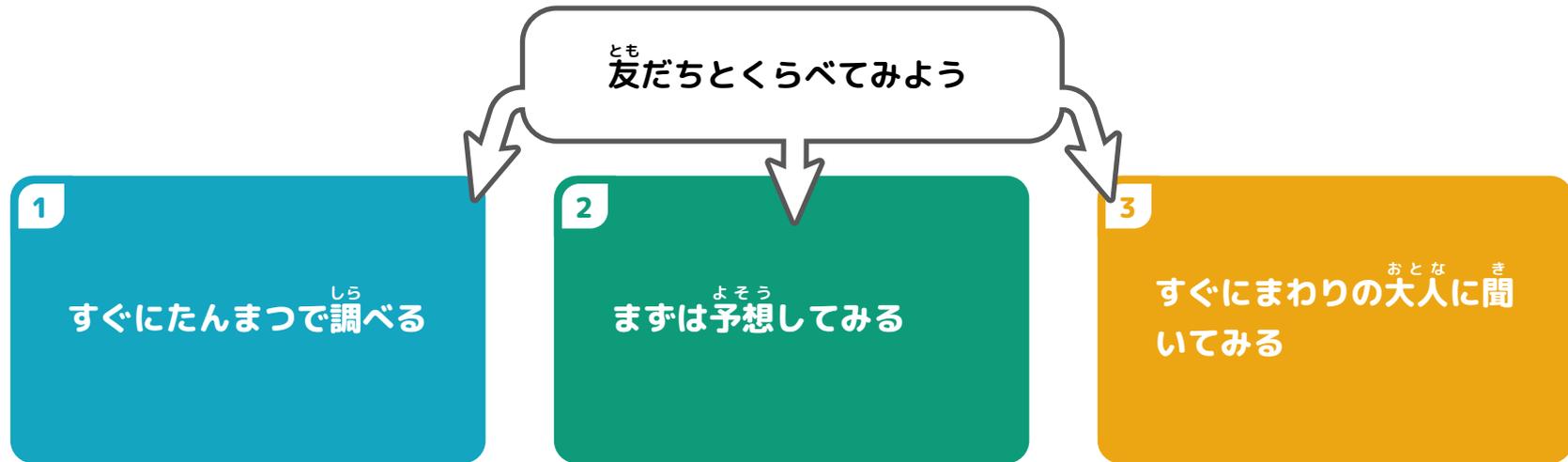
2

まずは予想してみる

3

すぐにまわりの大人に聞いてみる





★ スキルのポイント

たんまつを使うと様々なじょうほうが調べられます。もちろんそうした方ほうで調べたり、図書室で調べたり、くわしそうなおとなき聞いてみたりして、答えを見つけることも大切です。

しかし、調べたり、聞いてみたりする前に、自分で予想してみることも大切です。

「なぜなのかな」と自分で考えてから、調べたり、聞いてみたりしてみましよう。





## まとめ

### じょうず つか 上手に使うために

「かんが 考える」ためには、じょうほうをせいりしておくことが大切です。きちんとほぞんし、いつでもとりだせるようにしましょう。

また、目のけんこうを守りながらつかうことも大切です。特に、とく、しゅうちゅう、つか、集中して使っているときこそ、め、目をはなしてつか、使っているかをチェックしてみましょう。

### チェックしてみよう

- わたしは、いろいろなデータをじょうず、上手にほぞんすることができる
- わたしは、しら、調べたじょうほうをせいり、整理することができる
- わたしは、め、目のけんこうをまも、守ってつか、使うことができる
- わたしは、まず、じぶん、あたま、かんが、自分の頭で考えてからたんまつ、つか、使ってしら、調べることができる